

第4回 一般廃棄物最終処分場の候補地選定に係る住民説明会概要

1 日時 令和7年5月31日（土）14:00～15:30

2 場所 名取市役所 6階第1会議室

3 参加者

(1) 市民11名

(2) 小松生活経済部長、朽木環境共創課長、石川環境共創課長補佐、小山主事、石川主事

4 説明事項

(1) 名取市のごみ処理の現状について

(2) 今回の選定における基本的な考え方

(3) これまでの選定経過について

(4) 候補予定区域について

(5) 詳細調査の評価項目について

(6) 今後のスケジュールについて

<質疑応答（要約）>

(1) 最終処分場の概要、選定過程などに関する質疑

Q1 来年3月に候補地選定して、実際に稼働するのは令和8年度になるのか。期限の目標というのは決まっているのか。

A1 令和7年度末までに市の方で1箇所選定したいということで進めている。

工事着手、稼働について、具体的な年度については持ち合わせてはいない。

設計で1年以上、工事で2、3年期間を要するため、選定が決まっても竣工まで最低でも3年以上かかるのではないかと考えている。

Q2 現在、最終処分場の焼却灰はどちらに搬出しているのか。

Q2 県外に搬出しているが、具体的な場所については非公表とさせていただいている。

Q3 周辺のため池、基幹水路等への影響が少ないと思われる区域というのは、距離的な考え方なのか。

A3 具体的な距離については設けてはいない。今回水が漏れない前提で進めているが、周辺住民が気になることを考慮し、可能な限り影響が少ない場所を区域として抽出した。

Q 4 今5箇所絞っているが、ここから絞る予定はあるのか。また、コスト面についても含めて教えてほしい。

A 4 5箇所から仮に3箇所程度に絞り込み、最終的に市の方で1箇所に絞り込む形で考えている。コスト面については、調査結果が出てきていないため、まだ具体的なことについては申し上げられないため、ご了承いただきたい。

Q 5 選定委員会の方に、処分場建設の専門家の方は入っているのか。

A 5 廃棄物関係、水環境関係、地盤関係の大学教授3名と廃棄物施設の支援に携わっている（公社）全国都市清掃会議の技術部長、県の産業廃棄物の運営をしている宮城県環境事業公社の前理事長の計5名に担っていただいている。

Q 6 沿岸部に関しては津波の可能性があり、処分場の運営に支障があると考えている。

A 6 5番の候補地について、津波浸水区域が5m超の区域であることは市としても把握している。ただし、技術的には建設可能の意見をいただいております、費用的な部分も含めて、今後の調査で判断していきたい。

Q 7 処分場の運営に関して、地盤の安定性が必要になってくると思うが、ボーリング調査等をして、高い支持力が得られなかった場合、もう1回選定をし直すのか。

A 7 今回ボーリング調査まではしないが、文献調査等で建設困難な場所については除外されるため、建設可能なところを1箇所選定していきたい。

Q 8 クローズド型にしても、水はどうしても発生してしまうと思うが、下水に流すという選択肢が出てきた場合、候補地まで下水を引くという認識でよいのか。

A 8 水は、下水に放流するやり方と循環処理という浸出水処理施設のほうで浄化したものを循環させるやり方のどちらかになると思う。

下水を引けるところについては新たに敷設することになるが、距離的なものや条件的に引けないところも出てくるため、下水が難しい場合は循環処理で建設可能かをコンサルタントに調査していただくことになる。

(2) 愛島地区が候補予定区域になっていることなどに関する質疑、ご意見

Q 1 愛島地区の除外について、愛島を第1候補としないという書きぶりのため、5つ候補地を挙げた中で、愛島地区が最終的に選定される分にはいいという理解でよいのか。そうでないと、この候補地に愛島を挙げる意味が無くなると思う。

A 1 今回、市としてはあくまで市内全域から再度、新たな方法で候補地を絞っているという考え方で進めている。その前提として、処分場の構造や技術的なものが変わってきているところもある。安心安全な施設を建てるということは、行政として当然のことであり、そこは丁寧な説明をして、ご理解いただきながら進めていきたいと考えている。

Q 2 約束事がある上で、愛島に3箇所候補地を持っていくこと自体おかしいのでは。過去の約束事の文書をどのように考えているのか。

A 2 今回の候補地選定は、市内全域を対象として進めていくことを前提に進めている。

Q 3 もし愛島が1箇所に絞り込まれたらなら、約束事は反故になるのか。

A 3 繰り返しの回答になるが、今回は市内全域を対象という考えでやっている。決して約束を反故にするということではないので、そこについては丁寧に説明を尽くして進めていきたい。

(3) ご意見として承ったもの

意見 1 愛島との約束事があるのなら、評価する際にその辺も考慮した方がよいと思う。

意見 2 先の話だが、工事業者との契約、完了後の報告、責任の所在等をきちっと明文化してほしい。

意見 3 評価項目の中に土砂災害関係が無いので、そこも調査が必要だと思う。

意見 4 クローズド型だから大丈夫という話があったが、地下への汚染浸出水によるダムやため池、農業用水への影響が懸念される。過去、現在、未来のリスクも含めて候補地から愛島地区を外していただきたい。

意見 5 丁寧に説明をしたから納得しろよという考えで進めるつもりなのか。土砂災害の危険性も評価項目に入っておらず、丁寧な説明とか重く受け止めていると言われてもすっきりしない。